

電力経済研究 No.64 特集「電力システム改革と再生可能エネルギー政策の整合性」
 の訂正について

研究ノート「エリア別送電混雑コスト評価ツールの開発」の本文 98 ページに下記の誤りがありました。既にダウンロードされた皆さまにはご迷惑をおかけしますことを深くお詫びいたします。なお、研究ノートの主な内容には変更ございません。

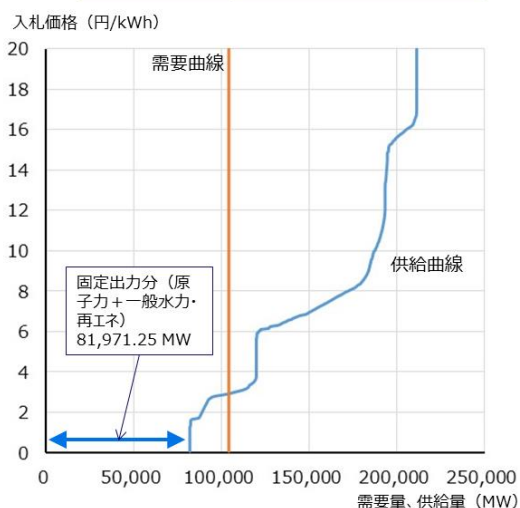
訂正内容

- (1) 図3 再エネ電源の卸電力市場への入札による卸電力市場価格（システムプライス）の影響
 (b) 春期（4月水曜14時を想定。市場需要は104,174MW）

システムプライスの値を「3.14 円/kWh」から「2.92 円/kWh」に訂正いたします。なお、グラフに変更はございません。

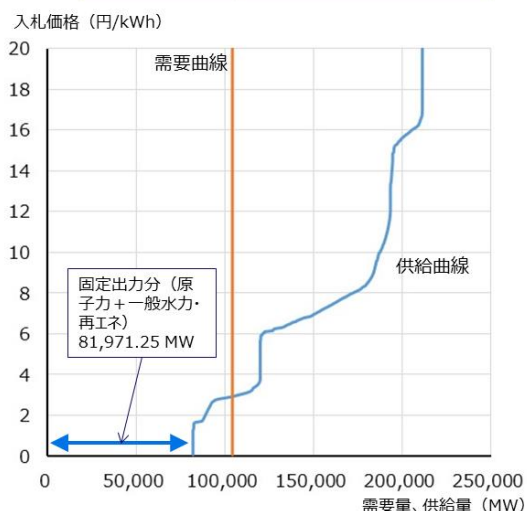
訂正前

システムプライス	3.14 円/kWh
再エネ 入札量	47,721.59 MW 太陽光 : 38,642.02 MW 風力 : 3,223.41 MW バイオマス : 4,695.20 MW 地熱 : 1,160.96 MW



訂正後

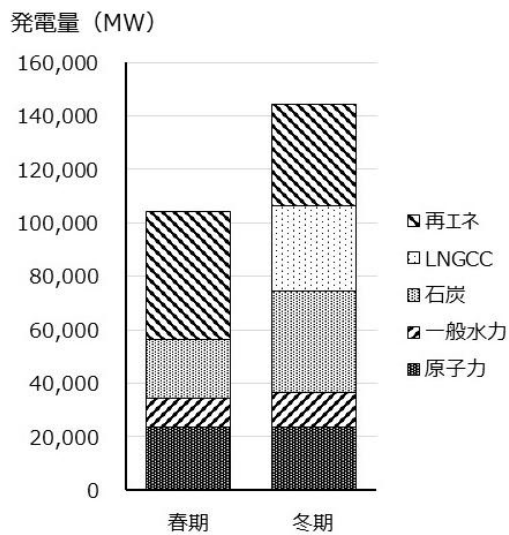
システムプライス	3.14 円/kWh 2.92 円/kWh
再エネ 入札量	47,721.59 MW 太陽光 : 38,642.02 MW 風力 : 3,223.41 MW バイオマス : 4,695.20 MW 地熱 : 1,160.96 MW



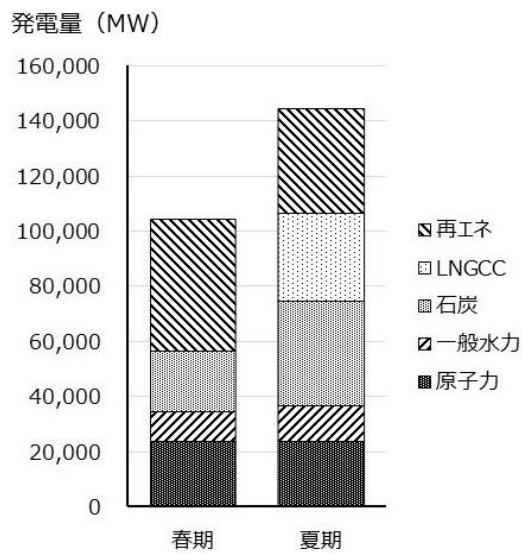
(2) 図4 市場均衡時の燃料種別毎の発電量

図中の「冬期」を「夏期」に訂正いたします。

訂正前



訂正後



(3)本文 (左段下1行目) の「石炭火力と LNG 火力は落札されず、」の部分を下のように訂正いたします。

訂正前

ネ電源の卸電力市場への入札に伴い、石炭火力と LNG 火力は落札されず、LNGCC の落札水準も、総落札量の約17%程度に留まる。

訂正後

ネ電源の卸電力市場への入札に伴い、石油火力と LNG 火力は落札されず、LNGCC の落札水準も、総落札量の約17%程度に留まる。

以上